

製品名: シクラーゼ IV ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号:** APRab06353

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,ELISA
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12 ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,ELISA 1:10000-1:20000
分子量	120kDa

抗原情報

遺伝子名	ADCY4
別名	ADCY4; Adenylate cyclase type 4; ATP pyrophosphate-lyase 4; Adenylate cyclase type IV; Adenylyl cyclase 4
遺伝子 ID	196883.0
SwissProt ID	Q8NFM4
免疫原	抗血清はヒト ADCY4 由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 195-244

背景

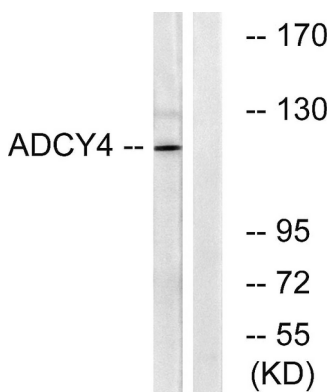
この遺伝子は、膜結合酵素であるアデニル酸シクラーゼファミリーのメンバーをコードしており、膜結合酵素は二次メッセンジャー

である環状アデノシンリン酸 (cAMP) の生成を触媒します。マウスを用いた研究では、アデニル酸シクラーゼ 4 がアデニル酸シクラーゼ 2 および 3 と共に嗅覚繊毛に発現していることが示されており、複数の異なるアデニル酸シクラーゼが嗅覚受容体に結合し、cAMP シグナル生成には複数の受容体介在メカニズムが存在する可能性が示唆されています。選択的スプライシングにより転写産物バリエーションが生じます。[RefSeq 提供、2010 年 11 月],触媒活性: ATP = 3',5'-環状 AMP + ニリン酸,補因子: サブユニットあたり 2 個のマグネシウムイオンを結合,酵素調節: カルシウム/カルモジュリン非感受性。G タンパク質のベータおよびガンマサブユニット複合体によって刺激されます。機能:これは膜結合型で、カルモジュリン非感受性のアデニル酸シクラーゼです。類似性:アデニル酸シクラーゼクラス 4/グアニル酸シクラーゼファミリーに属します。類似性:2 つのグアニル酸シクラーゼドメインを含みます。,

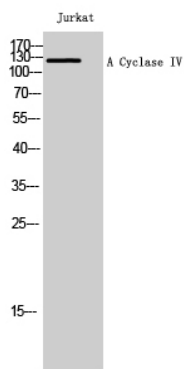
研究分野

プリン代謝、カルシウム、ケモカイン、卵母細胞減数分裂、血管平滑筋収縮、ギャップ結合、味覚伝達、GnRH、プロゲステロン媒介卵母細胞成熟、メラニン形成、拡張型心筋症。

画像データ



ADCY4 抗体を用いた Jurkat 細胞ライセートのウェスタンブロット解析。右レーンは合成ペプチドでブロッキングされている。



A Cyclase IV ポリクローナル抗体を用いた Jurkat 細胞のウェスタンブロット解析